

デジタル文献の利活用と著作権コンプライアンス

～デジタルトランスフォーメーション時代に必要な攻めと守りの対策とは～

主催：名古屋商工会議所、一般社団法人愛知県発明協会、
一般社団法人学術著作権協会、RightsDirect Japan株式会社

ペーパーレス化やクラウド活用による働き方改革、AIやIoT、5Gといった最先端デジタルテクノロジーの活用による事業創出など、現在多くの企業がICT技術の浸透による社内改革（デジタルトランスフォーメーション;DX）を推進しようとしています。

こうしたICT技術による社内改革では、情報の利活用の重要性を認識し、その上で最適なツールを導入し使いこなすことが、業務効率化だけでなく事業創出において極めて重要であるとともに、今まであまり認識していなかったさまざまなドキュメントの電子化などにより増大する**著作権の侵害リスク**に対する対策を講じることも重要なポイントとなってきます。

そこで、本セミナーでは、数多ある**デジタル文献の利活用の重要性とそのためのツール**を海外の先端導入事例を交えてご紹介するとともに、企業として対策を講じておかななくてはならない**著作権コンプライアンス対策**の考え方と方法についてわかりやすく解説いたします。この機会にぜひご参加下さい。

日時

2020年 **1月28日**（火）
14:00～16:00（受付13:30～）

講師

一般社団法人学術著作権協会
事務局長 石島寿道 氏
RightsDirect Japan 株式会社
マネージングディレクター
富井俊行 氏

会場

名古屋商工会議所 5階会議室C
（名古屋市中区栄2-10-19）

定員

40名（先着順）

対象

経営者、知財担当者、
総務・コンプライアンス担当者等

内容

1. デジタル社会と著作権コンプライアンス
2. デジタルトランスフォーメーション時代におけるデジタル文献の利活用の重要性
3. ソリューションのご紹介

💡デジタル化対応できていますか？

- ✓契約データベースや購読誌などの外部情報リソースと内部情報リソースを最大限に活用した研究・ビジネス分析はできていますか？
- ✓内部・外部の情報リソースを取得するのに多くの人手と時間を費やしていませんか？
- ✓海外競合企業と比較してDXで周回遅れになっているかもしれません！？

💡こんなことをしていませんか？

- ✓書籍のページを保存、社内クラウドで関係者へ情報共有
- ▶DXへの対応に遅れてしまいう一方で、当たり前のようにしていることが、知らずに著作権を**侵害**しているケースも！？

まずはリスクに対する**気づき**から！

【問合先】名古屋商工会議所 産業振興部内 （一社）愛知県発明協会 新木
TEL：052-223-5640 FAX：052-221-7964 E-mail chizai@nagoya-cci.or.jp

FAX：052-221-7964 知的財産権講習会（実務者編）受講申込書 申込日： 年 月 日

会員・非会員区分
（○で囲んで下さい）

名古屋商工会議所会員 ・ 愛知県発明協会会員 ・ 非会員
（会員番号）

会社名・団体名

部署・役職

氏名

TEL

E-mail



Web申込はこちらから